

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1)固定資産の減価償却について

有形固定資産 定額法による減価償却を実施している。

(2)引当金の計上基準

退職給付引当金 職員の退職給付の要支給額を計上している。

(3)消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式により行っている。

2 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
研修費用積立金	5,764,676	0	1,000,000	4,764,676
法人格取得20周年記念事業積立	0	5,954,343	0	5,954,343
特定資産合計	5,764,676	5,954,343	1,000,000	10,719,019

3 特定資産の増減額の財源の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
研修費用積立金	4,764,676		(4,764,676)	
法人格取得20周年記念事業積立	5,954,343		(5,954,343)	
特定資産合計	10,719,019	0	(10,719,019)	0

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車両運搬具	1,672,300	604,257	1,068,043
合計	1,672,300	604,257	1,068,043